

青少年ニュースレター

VOL. 98 2018年12月号

2018年12月8日発行

【発行】

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

関西教区：青少年委員会

《もう一度目を向け・・・》 —平松若樹先生—

次回の 代表者会

日時：12月10日(月)
午後7時～9時

会場：

西宮市民会館

礼拝：大塚 正広 先生

中高生：話し合い

C A：話し合い

*必ず牧師の了解を得て
参加して下さい！

CA セレブレーション

【日時】
2019年1月13日(日)
午後5時～

【会場】
高槻キリスト教会

【内容】

①成人祝福式

司式：瀬古慎二先生
(関西教区長)

②賛美集会

講師：申東勲 先生
(神戸グレースハーモニー伝道所)

ユース スプリングキャンプ

日程：3月25日(月)
～27日(水)

会場：信太山青少年
野外活動センター

講師

中高科：城市篤先生
(豊川基督教会)

小学科：洪ジュヨン先生
(神戸グレースハーモニー伝道所)

「人生に必要なもの。それは勇気と想像力、そして少しのお金である」まだ迫害と差別、厳しい貧しさがあった時代に、喜劇王として生きたチャールズ・チャップリンの言葉です。

私たちが人生を歩いていく時、必要なものは沢山あると思います。問題に立ち向かっていく勇気、乗り越えていくための想像力。知恵や知識が必要な事もある。時には経験が求められる事もあります。特にお金は私達の生活に密着しているものであり、必ず必要になってくるものです。確かに世の中の多くは、それが必要であると求めているかもしれませんが。

けれども聖書を見ると、それが一番ではないと語っています。人生が一番必要なもの。それはイエス・キリストを救い主と信じる信仰が必要だと教えています。ではこの信仰には、一体何があると言うのでしょうか。聖書はこのようにのべています。「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たといい死んでも生きる。」(ヨハネ福音書11:25)

この世にある知恵も、知識も、お金も、やがて訪れる死によって終わりをつけるものです。けれどもイエス・キリストを救い主と信じ、信仰を持つ者は決して終わる事はないと語っています。つまり私たちの人生は、死んで終わりではないと言われるのです。死は一時的なものでしか

なく、生き続ける事が出来るのだと言われるのです。キリストを救い主と信じ受け入れる者は、“たといい死んでも生きる”のです。

何という生きる喜びに満ちた、命に溢れた言葉でしょうか！この事実を知るなら、私達はどのような問題に直面しようと、どのような苦しみや悲しみに出会おうと、どのような厳しい現実と向き合う事になっても、それでも立ち向かっていく事が出来る。戦う事が出来るのです。

もしかすると弱ってしまい、座り込んでしまう事があるかもしれませんが。生きる目的を見失い、行き詰まってしまふことがあるかもしれませんが。しかし何の心配もありません。例え私たちの現実はそうであったとしても、私たちの人生は何度でも励まされ、慰められ、回復されていくからです。なぜならイエス・キリストを救い主と信じる事を人生の中で第一に求める者には、たといい死んでも生きると言われる希望の力が、その信仰には秘められているからです。

2018年が終わりをつげ、新しい2019年が始まります。何が人生にとって必要であるのかと、迷ってしまう事があるかもしれませんが。けれ

ども私たちはもう一度目を向けたいと思います。イエス・キリストこそ救い主であると信じている信仰に。



《ユーススプリングキャンプ》 — 中高科 —

今回から、小学科の対象年齢を新小4年生からにしました。これを機に小学科のお友達がたくさんキャンプに参加出来ればいいな、と期待しつつ、お

祈りしています。ちなみに、キャンプ名も若干変わりました！みんな、「ユーススプリングキャンプ」で会おうね！！待ってるよ～～！！